

社会資本総合整備計画(市街地整備)

きそがわ ゆめ ろまん
木曾川～ 夢と浪漫のまちづくり

(第3回変更)

ぎふけん かかみがはらし
岐阜県 各務原市

平成28年11月

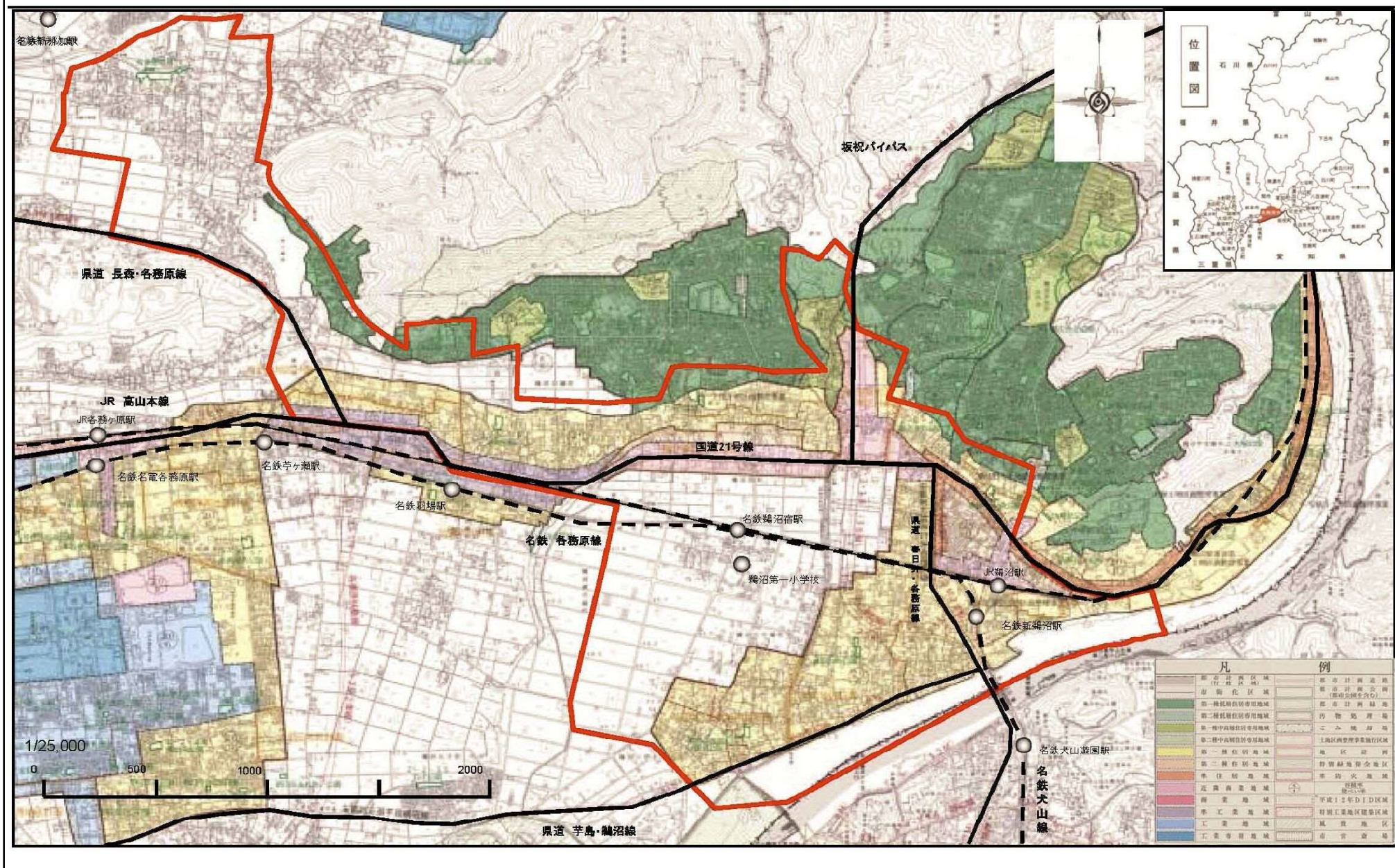
社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成28年11月21日

計画の名称	木曾川～ 夢と浪漫のまちづくり						重点配分対象の該当										
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）	交付対象	各務原市														
計画の目標	<p>大目標：歴史・景観拠点のネットワーク化を図るとともに、地域全体ならびに各拠点のさらなる活性化を目指す。</p> <p>目標1：地域の歴史・景観資源を活用し交流人口の増加を目指す。</p> <p>目標2：美しい景観と豊かな自然に親しむことができる憩いの空間を創出する。</p>																
計画の成果目標（定量的指標）	<p>1. 拠点間の歩行者数・・・遊歩道の整備、歴史・景観拠点の整備による地区内の歩行者数の増加を図る。</p> <p>2. 歩行者の快適性・・・自然に親しむことができる遊歩道の整備により、歩行者の快適性（自然環境の親しみやすさ、歩きやすさ、安全性）の向上を図る。</p> <p>3. ネットワークの良好性・・・サインの設置、遊歩道の整備による各拠点への案内の良好性の向上を図る。</p>																
定量的指標の定義及び算定式							備考										
				定量的指標の現況値及び目標値													
				当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)											
	拠点間における休日の午前9時から午後3時の間の歩行者数			409人	-	612人											
	木曾川・大安寺川河畔遊歩道の快適性（自然環境の親しみやすさ、歩きやすさ、安全性）			24%	-	85%											
	地区内周遊者に対する各拠点への案内の良好性			12%	-	100%											
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	452百万円	A	452百万円 (内提案事業費分 6百万円)	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C)/(A+B+C+D)	1.3%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H24	H25	H26	H27	H28				
1-A-1	都市再生	一般	各務原市	直接	各務原市	各務原東部地区都市再生整備事業	遊歩道、公園等 400ha	各務原市						452	一	なし	
合計													452				
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H24	H25	H26	H27	H28				
合計																	
C 効果促進事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H24	H25	H26	H27	H28				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H24	H25	H26	H27	H28				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	木曾川～ 夢と浪漫のまちづくり	交付対象	各務原市
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度 (5年間)		



凡	例
都市計画区域	都市計画道路
市街化区域	都市計画(第一種)
第一種住居地域	都市計画(第二種)
第二種住居地域	公園地
第三種住居地域	工業用地
商業地域	特別用途地区
工業用地	特別用途地区
工業専用地域	市営倉庫
	市営倉庫

都市再生整備計画

かかみがはらとうぶちく だい かいへんこう
各務原東部地区(第3回変更)

ぎふけん かかみがはらし
岐阜県 各務原市

平成28年11月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・美しい景観と豊かな自然に親しむことができる遊歩道、公園の整備を行い、憩いの空間を創出する。 木曽川右岸には、犬山城を借景とする眺望、木曽川河畔の美しいロケーションを楽しむことができる憩いの場となるような遊歩道を整備する。大安寺川は、自然豊かな河川景観を形成しており、遊歩道利用者が自然に親しみ憩いの場となるような遊歩道を整備する。</p>	<p>■基幹事業 (仮称)木曽川河畔公園整備(公園) ■基幹事業 木曽川河畔遊歩道整備(高質空間形成施設(自然色舗装)) ■基幹事業 大安寺川河畔遊歩道整備(高質空間形成施設(自然色舗装)) ■基幹事業 木曽川チャート遊歩道整備(高質空間形成施設(自然色舗装)) ■基幹事業 木曽川河畔広場整備(地域生活基盤施設事業(広場)) ○関連事業 鵜沼駅東部第二地区 都市再生整備計画(宝積寺南4号公園)</p>
<p>・中山道鵜沼宿、村国座等地域の持つ多くの歴史資源を活用し、観光・文化の振興を図り地域全体ならびに各拠点の活性化を図る。 鵜沼地区に点在する歴史拠点間、さらには鵜沼駅、新鵜沼駅、鵜沼宿駅も含めたネットワーク化を図り、周遊者の動線を強化することで各拠点を活性化させる。また、歴史資源を活用した活動、歴史的な文化活動に対して積極的な助成を行う。</p>	<p>■基幹事業 ふれあい広場整備(地域生活基盤施設事業(広場)) ■基幹事業 大安寺川周辺地区サイン整備(地域生活基盤施設事業(情報板)) ■基幹事業 各務野歴史街道サイン整備(地域生活基盤施設事業(情報板)) ■基幹事業 木曽川河畔遊歩道整備(高質空間形成施設(自然色舗装)) ■基幹事業 大安寺川河畔遊歩道整備(高質空間形成施設(自然色舗装)) ■基幹事業 各務原東部地区周遊ルート整備(高質空間形成施設(カラー舗装)) □提案事業 研修・ワークショップの開催支援(まちづくり活動推進事業) □提案事業 歴史拠点・景観資源のPR活動(地域創造支援事業)</p>
<p>・各務原市、犬山市両市が持つ歴史・景観拠点を活用し交流人口の増加を目指す。 中山道鵜沼宿(各務原市)・犬山城(犬山市)の歴史拠点、犬山城・伊木山・木曽川を借景とした景観資源を活用し、各務原市・犬山市両市を往来する交流人口の増加を目指す。また、犬山市を訪れる多くの観光客に対して各務原市の歴史、景観の魅力を紹介し、木曽川を挟む地域一体の活性化を促進する。</p>	<p>■基幹事業 (仮称)木曽川河畔公園整備(公園) ■基幹事業 大安寺川周辺地区サイン整備(地域生活基盤施設事業(情報板)) ■基幹事業 木曽川河畔遊歩道整備(高質空間形成施設(自然色舗装)) ■基幹事業 大安寺川河畔遊歩道整備(高質空間形成施設(自然色舗装)) ■基幹事業 公衆トイレ整備(高質空間形成施設(歩行支援施設、障害者誘導施設等)) ■基幹事業 木曽川河畔広場整備(地域生活基盤施設事業(広場)) ■基幹事業 坊の塚古墳広場整備(地域生活基盤施設事業(広場)) ■基幹事業 大安寺川河畔広場整備(地域生活基盤施設事業(広場)) □提案事業 研修・ワークショップの開催支援(まちづくり活動推進事業) □提案事業 歴史拠点・景観資源のPR活動(地域創造支援事業) □提案事業 景観重要建造物保存事業(地域創造支援事業) □提案事業 家屋等修景補助事業(地域創造支援事業) ○関連事業 (都)犬山東町線バイパス整備事業 ○関連事業 犬山市歴史的風致維持向上計画(国登録文化財修理助成事業、景観重要建造物助成事業、景観形成助成事業)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業終了後の継続的なまちづくり活動 ・各拠点で活動するボランティア組織等との協働活動及び支援。 ・住民・行政協働で定期的なワークショップ等の開催を行い、地域の魅力を持続させていく協働の取組みの検討を継続。 ・鵜沼東部地区で活動しているまちづくり組織、ボランティア組織の交流促進およびその支援。 ・近隣市町村との連携・情報共有・共同企画事業の展開。 ・観光施設、宿泊施設、駅利用者に対するPR活動。 	

各務原東部地区(岐阜県各務原市) 整備方針概要図

目標	歴史・景観拠点のネットワーク化を図り、各拠点および地域全体のさらなる活性化を目指す	代表的な指標	拠点間の歩行者数 (人)	409(人)	(24年度)	→	612(人)	(28年度)
			歩行者の快適性 (%)	24(%)	(24年度)	→	85(%)	(28年度)
			ネットワークの良好性 (%)	12(%)	(24年度)	→	100(%)	(28年度)

